

五

送第八一五号  
海軍省

送第八一六号  
陸軍省

送第八一四号  
内務省

送第八一二号  
文部省

爵

明治 年 月 日  
明治 年 月 日

局長

爵位局 主事  
勤務

大臣

内事課長  
内事課次長

次官

陸軍省大臣以下  
以下 武官 佐々木 俊之助  
佐々木 俊之助

宮内省

めくれず

裏面白紙

明治 年 月 日  
明治 年 月 日

41





陸軍歩兵大佐從五位勲四等岡直臣以下二十二名  
叙位ノ件

右謹テ奏ス

明治三十六年十月八日

内閣總理大臣伯爵桂太郎

内

閣



明治卅六年十月 日

内閣書記官

内閣總理大臣

ノ

内閣書記官長

安

陸軍歩兵大佐從五位勲四等岡直臣以下二十二名  
ハ高等官在職滿十年以上ニシテ勤勞不少候處今般  
豫備後備並退役退官ニ付敘位進階内則第四  
條ニ依リ特旨ヲ以テ位一級進メラレ然ルヘシ

内閣

|              |             |
|--------------|-------------|
| 陸軍歩兵大佐從五位勲四等 | 岡直臣         |
| 陸軍歩兵少佐       | 功五級 長直美     |
| 左            | 正六位勲五等 高橋駒彦 |
| 陸軍砲兵中佐       | 功四級 吉田邦彦    |
| 陸軍歩兵少佐       | 功五級 鈴木敬事    |
| 陸軍砲兵大尉       | 功四級 関信      |
| 陸軍一等軍吏       | 平山重義        |
| 海軍軍醫中監       | 功四級 金田一義行   |
| 海軍機關大監       | 功四級 秋庭直衛    |



正六位勲六等

菊池末太郎

正六位勲六等醫學博士

栗本東明

陸軍歩兵大尉從六位勲五等

河村菱太郎

左

富永傳次郎

左 功五級

杉山正行

陸軍一等軍吏 左

大内則富

陸軍歩兵大尉 勲四等

飯田慶昌

陸軍一等軍醫 勲五等

恩馬琴梧

陸軍一等藥劑官 左

大竹晶七郎

海軍軍醫少監 左

島田伊作

陸軍歩兵大尉正七位勲五等功五級小野 攻

陸軍一等軍吏正七位勲四等

吉岡敬一

正七位

林有章

特旨ヲ以テ位一級被進

從五位勲四等

岡直臣

左 功五級

長直美

敘正五位

正六位勲五等

高橋駒彦

左 功四級

吉田邦彦

左 功五級

鈴木敬事

左

関信



45

全 全

平山重義

全 全

金田一義行

全 全

秋庭直衛

左 勲六等

菊池末太郎

左 左

醫學博士

栗本東明

敘從五位

從六位勲五等

河村菱太郎

左 左

富永傳次郎

左 左

功五級

杉山正行

全 全

大内則富

内

閣

從六位勲四等

飯田慶昌

左 勲五等

恩馬琴梧

左 全

大竹晶七郎

左 全

島田伊作

敘正六位

正七位勲五等功五級

小野 攻

左 勲四等

吉岡敬一

左

林 有章

敘從六位



勲位第四〇五號

陸軍歩兵大佐岡直臣以下八名特旨叙位之件ヲ進達ス

明治三十六年九月三十日

陸軍大臣寺内正毅



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

陸軍省

裏面白紙



別紙陸軍歩兵大佐岡直臣以下八名今般退職被仰付候  
處本共ハ高等官ニ任セラル以来十年以上在職勤勞不貲候  
ニ付文武官叙位進階内則第四條ニ依リ特旨ヲ以テ各位一級ヲ  
進メラレ度  
謹テ奏ス

明治三十六年九月三十日

陸軍大臣寺内正毅



陸軍省



|     |            |    |                 |       |
|-----|------------|----|-----------------|-------|
| 正五位 | 明治三十六年八月八日 | 豫備 | 陸軍歩兵大佐從五位勲四等    | 岡直臣   |
| 全   | 年九月十六日     | 後備 | 陸軍歩兵少佐從五位勲四等功五級 | 長直美   |
| 從五位 | 年九月廿三日     | 全  | 陸軍歩兵少佐正六位勲五等    | 高橋駒彦  |
| 正六位 | 年九月九日      | 全  | 陸軍歩兵大尉從六位勲五等    | 河村菱太郎 |
| 全   | 年九月十六日     | 豫備 | 陸軍歩兵大尉從六位勲五等    | 富永傳次郎 |
| 全   | 年七月十五日     | 後備 | 陸軍歩兵大尉從六位勲五等功五級 | 杉山正行  |
| 全   | 年八月十九日     | 全  | 陸軍一等軍吏從六位勲五等    | 大内則富  |
| 從六位 | 年九月十九日     | 豫備 | 陸軍歩兵大尉正七位勲五等功五級 | 小野攻   |

陸軍省



内務大臣官房 臺甲第九四號

別紙元臺北廳長兼臨時臺灣土地調查局事務  
官菊池末太郎叙位ノ件上奏書進達ス

明治三十六年九月十九日

内務大臣男爵兎玉源太郎



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

内務省

裏面白紙

48



從五位

三十五年七月十六日  
敘正六位

在職滿十年以上元臺北廳長兼臨時臺灣土地調查局事務官正六位  
鮎六等菊池末太郎

右退官、處多年奉職勤勞不尠者、付敘  
位進階内則第四條、依リ頭書之通特  
、位一級進メラレ度謹テ奏ス

明治三十六年九月十七日

臺灣總督男爵兒玉源太郎



臺灣總督府



裏面白紙

甲第四四八

別紙林有章 欽位 一 件

上奏書進達  
明治三十八年八月廿五日

内務大臣男爵兒玉源太郎



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省



從六位<sup>在職滿年上</sup>元休職<sup>至縣見玉郡長</sup>宅位 林有章

右今般休職滿期ニ依リ退官ノ處奉職

勤勞<sup>少ナカラサル者ニ付</sup>敘位進階内則第

四條ニ依リ頭書ノ通特ニ位一級進メ

ラレ度謹テ

上奏ス

明治廿年八月廿日 内務大臣男爵兒玉源太郎



内務省



裏面白紙

勲位第三三三號

陸軍歩兵少佐鈴木敬事以下四名特旨叙位之件ヲ進達ス  
明治三十六年八月十五日

陸軍大臣寺内正毅

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

陸軍省



別紙陸軍歩兵少佐鈴木敬事以下四名今般退職被仰付候  
處本共ハ高等官ニ任セシメ以来十年以上在職勤続不異候  
ニ付文武官叙位進階内則第四條ニ依リ特旨ヲ以テ各位一  
級ヲ進メラレ度  
謹シテ奏ス

明治三十六年八月十五日

陸軍大臣寺内正毅

陸軍省



從五位 明治廿年八月五日 後備役 陸軍歩兵少佐正六位勲五等功五級 鈴木敬事  
 今 明治廿年八月一日 左 陸軍砲兵大尉正六位勲五等関 信  
 正六位 明治廿年七月廿日 退役 陸軍一等軍医從六位勲五等恩馬琴梧  
 從六位 明治廿年六月廿日 左 陸軍一等軍吏正七位勲四等吉岡敬一

陸 軍 省



裏面白紙

三十三

陸軍一等軍吏平山重義以下二名特旨叙位ノ件ヲ進達ス

明治三十六年八月廿一日

陸軍大臣寺内正毅

内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

陸軍省



別紙陸軍一等軍吏平山重義以下二名今般退職被仰  
付候處本人共ハ高等官ニ任セラレ以来十年以上在職勤勞  
不歎候ニ付文武官叙位進階内則第四條ニ依リ特旨ヲ以  
テ各位一級ヲ進メラレ度  
謹テ奏ス

明治三十六年八月廿一日

陸軍大臣寺内正毅



陸軍省



從五位 明治三十八年八月廿八日 後備役 陸軍一等軍吏正六位勲五等 平山重義  
正六位 明治三十八年七月廿五日 豫備役 陸軍一等藥劑官從六位勲五等 大竹晶七郎

陸 軍 省



勲位第三七四號

陸軍廢中佐吉田邦彦以下三名特旨敘位之件進達ス

明治三十六年九月

日

陸軍大臣寺内正毅

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

陸軍省

裏面白紙



別紙陸軍砲兵中佐吉田邦彦以下二名今般退職被  
付候處本人共ハ高第官ニ任セシメ来十年以上在職勤勞  
不貳候付文武官叙位進階内則第四條ニ依リ特  
旨ヲ以テ各位一級ヲ進メラレ度  
謹シテ奏ス

明治三十六年九月 日

陸軍大臣寺内正毅

陸 軍 省



|     |            |                  |      |
|-----|------------|------------------|------|
| 從五位 | 明治三十九年九月一日 | 後備陸軍砲兵中佐正位勲五等功四級 | 吉田邦彦 |
| 正六位 | 全          | 陸軍歩兵大尉從六位勲四等     | 飯田慶昌 |

陸軍省



百五十一

全田一海軍軍醫中監以下二名の海軍  
ニ出身以來多年軍務ニ従事シ功績顕  
著ナル者ニ候處本日ヲ以テ孰モ豫備役ニ  
編入セラレ候ニ付特ニ位一級進メラレ度文  
武官叙位進階内則第四條ニ依リ別紙上  
奏書進達ス

明治三十七年八月十日

海軍大臣男爵山本權兵衛

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿



從五位  
正六位  
右各頭書之通叙位セラレ度謹言

海軍軍醫中監正六位勲五等金田一義行  
海軍軍醫大監從六位勲五等島田伊作

明治三十六年八月十日

海軍大臣男爵山本權兵衛



秋庭海軍機関大監ハ明治十五年十一月海  
 軍少将ニ任セラレ爾来軍務ヲ奉スル  
 者ニ候處本日ヲ以テ豫備役ニ編入セラレ現官  
 二進級候ニ付テハ此際特ニ位一級進メラレ度  
 文武官叙任進階内則第四條ニ依リ別紙上  
 奏書進達ス  
 明治三十九年九月十日

海軍大臣男爵山本權兵衛

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿





海軍機関大監正任勲章功級秋庭直衛

叙従五位  
右謹奏

明治三十六年九月十一日

海軍大臣男爵山本權兵衛





甲 二五四

別紙栗本東明敘位上奏書及進達候也

明治三十六年十月一日

文部大臣久保田譲



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

文  
部  
省



元休職長崎醫學專門學校教授

敘從五位

正六位勲六等醫學博士栗本東明

右ハ本年八月三十日休職満期ノ處同人ハ  
高等官在職十年以上ニシテ其勤勞甚カ  
ラサルニ付特ニ頭書ノ通位一級進メラレ度  
茲ニ謹テ奏ス

明治三十六年十月一日

文部大臣久保田 讓



文部省



栗本東明  
山形縣士族  
安政二年十月八日生

| 年 號   | 月 日    | 任 免 賞 罰          | 資 格 | 在 職 年 數 | 通 算      |
|-------|--------|------------------|-----|---------|----------|
| 明治二十年 | 六月四日   | 第五高等學校教諭         | 奏任  |         |          |
| 公二十三年 | 十月十五日  | 第五高等學校教授         | 令   | 九年七月余   | 九年七月余    |
| 公二十七年 | 九月十一日  | 第五高等中學校ヲ第五高等學校改稱 |     |         |          |
| 公三十一年 | 二月二日   | 非職               |     |         |          |
|       | 二月三日   |                  |     |         |          |
|       | 八月十七日  |                  | 除算  |         |          |
|       | 八月十八日  | 復職               | 二年余 |         | 二年余      |
| 公三十三年 | 八月三十日  |                  |     |         |          |
|       | 八月三十一日 | 休職               | 除算  |         |          |
| 公三十六年 | 八月三十日  | 休職満期             |     |         | 合計十七年七月余 |
| 文 部 省 |        |                  |     |         |          |